

世界最長の 鉄道用レール製造・出荷体制を整備



建造中の150mレール輸送船

©住友商事(株)

新日鉄住金は世界最長となる鉄道用150mレールの製造・出荷体制を整備しました。現状、鉄道用レールはレール長25mを標準として、最長50mに切断し出荷。鉄道事業各社はレール継目を溶接してロングレール化するなどを行っています。150mレールの製造・出荷で鉄道事業各社の線路保守作業の軽減や一層の軌道安定化などに貢献します。

また住友商事(株)は長尺レール輸送船の新造整備を開始しました。全長は約190mで、155mの船倉と3基のクレーンを装備する世界初の船です。



150mレール運搬の様子

安倍首相と豪州アボット首相 ウエスト・アンジェラス鉄鉱山を視察



安倍晋三首相(右から2人目)、トニー・アボット首相(右から3人目)、三村相談役名誉会長(左から2人目)

安倍晋三首相とオーストラリアのトニー・アボット首相が7月9日、新日鉄住金と三井物産(株)、リオ・テイント社が共同運営しているウエスト・アンジェラス鉄鉱山を視察しました。年間生産量2900万トンを誇る大規模露天掘り鉄鉱山で、長年にわたる日豪企業の連携の成果や豪州鉄鉱石産業における日本企業の貢献について理解を深めていただきました。

安倍首相が八幡の産業革命遺産を視察



八幡製鉄所の修繕工場で安倍首相に説明する進藤社長(右)

安倍晋三首相は7月18日、新日鉄住金八幡製鉄所を訪問し、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産とされている設備を視察しました。これら構成資産はユネスコ世界文化遺産への登録に向けた活動が行われています。

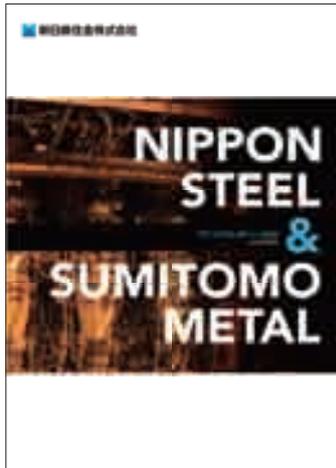
また安倍首相は福岡水素戦略社会実証プロジェクトの一環で、八幡製鉄所から水素を供給している北九州水素ステーションを視察しました。



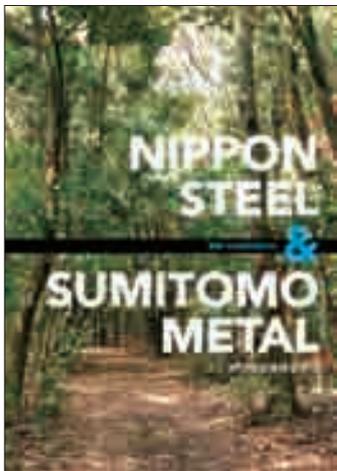
左から日鉄住金建材(株)増田規一郎社長(現相談役)とツェリン・トブゲ首相、辻卓史在日本ブータン王国名誉領事

『アニユアルレポート』『環境・社会報告書』を発行

新日鉄住金は、経営全般の情報をお知らせする『アニユアルレポート2014』と、環境への取り組みを紹介する『環境・社会報告書2014』を発行しました。ウェブサイトにPDF版も掲載しています。



アニユアルレポート2014



環境・社会報告書2014

ブータンで ノンフレーム工法の 共同プロジェクトを開始

日鉄住金建材(株)はブータン王国公共事業省の協力を得て、現地でノンフレーム工法(※)に関する共同プロジェクトを開始しました。共同プロジェクトでは同社がノンフレーム工法を設置し、ブータンと日本の学術機関とも連携して、モニタリング調査など実証実験を通じて共同研究を進めていきます。

※ 樹木を保全した斜面安定工法

東北復興支援音楽活動を実施



いわき市四倉チャイルドハウスふくまるで、オープニングイベントとしてKSTがミニコンサートを実施(上写真)。郡山市立緑ヶ丘中学校で演奏指導の後、『パッヘルベルのカノン』を合同演奏

(公財)新日鉄住金文化財団は4月26、27日の両日、福島県郡山市といわき市で紀尾井シンフォニーエツタ東京(KST)による演奏指導とミニコンサートを実施しました。KSTは2012年に米国で行われた日米桜寄贈百周年記念行事に招待され、東日本大震災に対する米国からの支援への感謝を込めて、米国東海岸の4都市で公演を行いました。同財団ではこの米国公演のチケット売り上げを原資として、被災地の音楽教育活動への支援を行っています。